

PRESS RELEASE



2025年8月1日

各 位

株式会社ビューティカダンホールディングス
(コード番号：3041 東証スタンダード)

持続可能な花づくりへー法政大学とゼオライト資材の共同研究をスタート

株式会社ビューティカダンホールディングス(本社：熊本市、代表取締役社長：舛田正一、以下「当社」)は、ゼオライト複合体を活用した菊の栽培資材の開発を目的に、学校法人法政大学(所在地：東京都千代田区、総長：Diana Khor、以下「法政大学」)と共同研究契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

《概要》

本研究では、ゼオライト複合体の特性を活かした資材評価を通じて、花き栽培における環境負荷の軽減と持続可能な生産体制の実現、さらには製品化を目指します。

《研究の背景・内容》

近年、露地栽培や水耕栽培の現場では、資源利用の効率化や環境負荷の低減が重要な課題となっています。こうした背景のもとで栽培資材の革新が求められるなか、当社は今後、連作障害や廃棄物処理の課題を抱える菊栽培の分野で、法政大学・渡邊雄二郎教授(生命科学部 環境応用化学科)との連携のもと、ゼオライト複合体を活用した資材の評価と製品開発に取り組んでまいります。

本研究では、ゼオライトと水酸アパタイトの複合構造がもたらす肥料成分の徐放性やイオン交換特性、保水・通気性などに着目し、実験室での植物評価から当社グループ会社である、株式会社アグリフラワー園場における栽培試験までを段階的に実施します。これにより、低コストかつ高機能な園芸資材の製品化と知財取得も視野に入れていきます。

《研究概要》

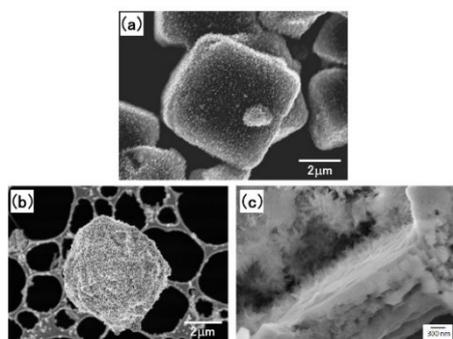
研究テーマ：ゼオライト複合体の菊栽培資材としての応用研究

研究代表者：渡邊雄二郎(法政大学 生命科学部 環境応用化学科 教授)

研究期間：2025年8月1日～2026年3月31日

研究実施場所：法政大学 小金井キャンパス(渡邊研究室) およびアグリフラワー園場

主な提供資材（設備）：ゼオライト複合体、ゼオライト、菊苗、圃場
主な評価内容：ゼオライト複合体の試作と栽培資材としての有効性評価



ゼオライト/水酸アパタイト複合体の走査型電子顕微鏡写真

(a) 合成ゼオライト、(b) 人工ゼオライト、
(c) 天然ゼオライト

アンモニウムイオンやカリウムイオンを保持したゼオライト表面に、リン酸イオンを徐放可能な水酸アパタイト微結晶を形成。

生育開始から 43 日後のほうれん草生育状況

(a) 土
(b) 複合体(粒子径 5~10 mm)+土
(c) 複合体+天然ゼオライト(粒子径 1~5 mm),
(d) 複合体+天然ゼオライト(粒子径 5~10 mm)

土のみ(a)と比較して、複合体を入れたもの(b)~(d)の方が肥料成分の徐放効果により生育が良好。

文献：渡邊雄二郎 “ゼオライト複合体培地及びシートを使った葉物野菜の栽培技術” バイオインダストリー, 38[9], 18-26 (2021).

《今後の展望》

本研究により、従来の培養土に代わる持続可能な栽培資材の実用化が期待されます。今後は、外部の支援や連携の可能性も視野に入れつつ、商品開発・知財戦略・販路構築を段階的に進めてまいります。また、資材としての汎用性を活かし、将来的には他の花き栽培や植物育成分野への展開も見据えています。

《会社概要》

会社名：株式会社ビューティカダンホールディングス
所在地：熊本県熊本市南区流通団地 1-46
代表者：代表取締役社長 舩田正一
事業内容：生花祭壇事業、生花卸売事業、ブライダル装花事業

《お問い合わせ先》

株式会社ビューティカダンホールディングス 広報担当
TEL：096-370-0004
Email：ir-info@beauty-kadan.co.jp
Web サイト：<https://www.beauty-kadan.co.jp>